

3年ぶり待望の開催！ 夷王山まつり

6月18日、19日の二日間、夷王山にて、夷王山まつりが開催されました。

初日の18日はたいまつ行列が中止となりましたが、夷王山神社にて宵宮祭が行われました。

また、19日は夷王山特設会場にて各種イベントが催され、南北海道歌謡大会では、道南各地から集った総勢24名が、その自慢の歌声を披露し観客を楽しませました。

さらに上ノ国鼓友会による龍焔大鼓の演奏があり、全3曲を披露し夷王山に力強い太鼓の音を響かせました。



メインイベントの歌謡ショーでは、千昌夫さんが登場し、代表曲「北国の春」など全10曲を熱唱し、その伸びやかな歌声で多くの観客を魅了しました。千さんは曲の合間に軽快なトークを披露し、明るい人柄を感じさせる話しぶりに、観客からは大きな笑い声や拍手が起りました。

濃い霧がかかり、小雨が時折降るなど、天候には恵まれませんでした。3年ぶりの開催とあって、町内外から多くの人（主催者発表1,200人）が訪れ、会場には活気と笑顔が溢れていました。

持続可能な漁業を目指して 町内各地で稚魚放流

6月2日、サクラマスの稚魚が神明地区にて放流されました。

ひやま漁協上ノ国支部の協力の下、稚魚の放流体験も行われ、参加した子どもたちは、放流した稚魚が川を泳いでいく様子を観察し、稚魚に声援を贈っていました。

また、17日、ニシンの稚魚が上ノ国・小砂子・石崎漁港にて放流されました。

今回、小砂子と石崎では試験的に、数日間生け簀で飼育してから放流となりました。この方法は稚魚が海に慣れたから放流することで、生存数増加が期待されています。



調理製菓専門学校

町内生産現場見学

函館短期大学付設調理製菓専門学校の水産加工工場等を訪れました。

この学校では生徒らが使う食材について興味を持って学ぶことを目的に、道南各地の漁業・農業の生産現場の見学を行っています。

今回は、海洋牧場やひやま漁協女性部上ノ国支部加工工場、(株)寅福のトマト工場等を見学し、各生産者に様々な質問をしていました。

漁協女性部の加工工場では、未利用魚ドングリの焼売を試食し、おいしいといった声が聞かれ、生徒らは多くの刺激を得たようでした。